



ベーシック

コア

実施・活用ガイド

先生用

! このガイドの前に必ず「Pスタディ・Pプラス共通 はじめ方ガイド」を確認し、IDの準備等を行ってください。

15分～

実施日前までにやること

P.1

実施概要と注意事項

P.2

実施当日の流れ(例)

P.3

～

P.4

結果の確認

P.5

～

P.7

お問い合わせ先

IDの準備について

Web
サポートデスク



0120-350124

通話料無料

受付時間：月～金 8:00～18:00
土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

商品内容、お申し込み内容について

高校の先生専用
お客様
サービスセンター



0120-350455

通話料無料

受付時間：月～金 8:00～18:00
土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

実施日前までにやること

余裕をもって実施当日を迎えられるよう、以下のご対応を**前日までに**行ってください。

✓ 実施日・解答解説公開日の登録

テストを実施する日・生徒へ解答解説を公開する日を登録してください。



- 1 「Pスタディ・Pプラス先生管理画面」にログイン
→登録を行う実施回の**「準備・結果」**をクリック
- 2 **「実施日を予約する」**をクリックし日付を登録
※実施日は最大10日まで登録でき、登録後の変更も可能です。
- 3 **「解答解説公開日」**をクリックし日付を登録
※未設定の場合は、実施日が公開日になります。



✓ テストを実施する端末の動作環境チェック

テストを実施する端末で動作環境チェックツールを起動し、受験環境に問題がないかをご確認ください。



- 1 「Pプラス ベネッセ」でGoogle検索し、
Webサイト (<https://www.p-pras.com/>) にアクセス
→**「ベーシック」or「コア」**をクリック
- 2 **「動作環境」**をクリックし、チェックツールを起動
- 3 **チェック結果がOKであれば問題なし**

✓ テスト前日までにID・パスワードの確認

実施時は生徒に受験サイトへログインいただきます。事前に準備したIDとパスワードが必要になりますが、当日にIDやパスワードを忘れてしまうと確認作業に20分~30分かかる場合があります。忘れている生徒がないかを前日までに確認することを強くおすすめします。

実施概要と注意事項

■ 実施概要

種別	ベーシックタイプ	コアタイプ
レベル	情報Ⅰ/高校標準レベル	中学技術家庭科/中学卒業レベル
範囲	「情報Ⅰ」で履修する全領域	中学で履修する全領域
問題数	32問	36問
所要時間 目安	50分で実施 テスト画面へログイン:5分(目安) 受験時間:45分	50分で実施 テスト画面へログイン:5分(目安) 受験時間:45分
動作環境 <small>※最新の動作環境は PプラスWebサイト をご確認ください</small>	【Windowsの場合】 OS:Windows10 ブラウザ:Microsoft Edge/ Google Chrome 【Chromebookの場合】 OS:Chrome OS ブラウザ:Google Chrome 【iPadの場合】 OS:iPadOS15 ブラウザ:safari	【Windowsの場合】 OS:Windows10 ブラウザ:Microsoft Edge/ Google Chrome 【Chromebookの場合】 OS:Chrome OS ブラウザ:Google Chrome 【iPadの場合】 OS:iPadOS15 ブラウザ:safari

■ 注意事項

≫ 計算用紙の使用について

一部の問題では、計算が必要なものがあります。テスト画面上に電卓の機能がございすが、計算用紙を使用しても問題ありません。ただし、実施後に計算用紙は必ず回収・破棄してください。

≫ 動画に関する出題について

出題される問題の中には、動画を再生して解答を考えるものがあります(出題されない場合もあります)。こちらは再生しても音声は流れませんので実施時に生徒にお伝えください。

≫ テスト中に画面が固まった・接続が切れた場合について

ブラウザの更新ボタン(F5等)を押して更新することで解消されることがあります。それでも解決しない場合は、ブラウザを一度閉じて、再度立ち上げてログインし直してください。中断したところから再開できます。

実施当日の流れ(例)

当日は次のような流れで進めてください。

1 冒頭アナウンス並びに、ID・パスワードの確認



「それでは、これからPプラス〇〇タイプのテストを始めます。このテストはブラウザ上で実施するものなので、解答から結果確認まで端末の操作だけで完了します。」「問題の中には計算が必要なものもあります。テスト画面には電卓の機能もついていますが、手元で計算をしたい場合は紙とペンを使用しても問題ありません。使用する場合は、机の上に出してください。ただしこちらはテスト終了後に回収します」

生徒が紙とペンを用意する



「またテスト画面にログインするには、前日までに準備した〇〇IDと各自設定したパスワードが必要です。みなさん、ちゃんと覚えていますね？ログインができないと実施できないので、忘れた人は頑張って思い出してください」

2 テスト画面へログイン



「それではテスト画面にログインしてください。まずは端末に入り、ブラウザを開いてください」
※ご利用の端末によって推奨のブラウザが異なります。推奨ブラウザは P.3 をご確認ください。



「Pプラス ログインと検索窓に入力し、『ログイン | Pスタディ・Pプラスを始める』にアクセスしてください」

P-ID・もしくはP-IDを任意のものに変更したIDをご利用の場合



「トップページ右上の黄色いボタン、『Pスタディ Pプラスを始める』をクリックした後、商品選択の画面でPプラスを選択し、ログイン画面に各自のID・パスワードを入力しログインしてください」

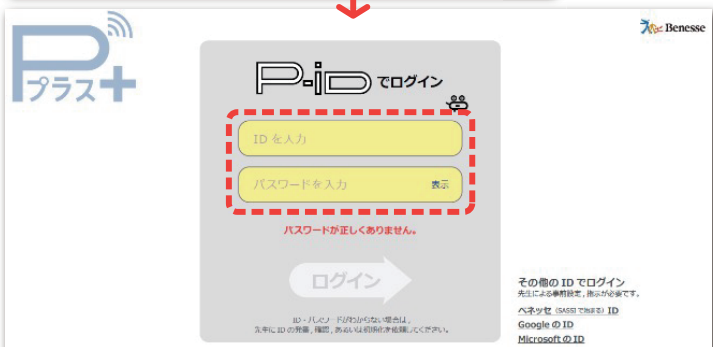
生徒がパスワードを忘れた場合

先生用管理画面から「ID・パスワードの作成・管理」へ進んでください。該当する生徒にチェックを入れて「生徒がパスワードを忘れた、など」をクリックしてください。

リセット後、生徒に(仮)パスワードを渡し、生徒自身にパスワードの再設定を案内してください。
※生徒が自身で設定したパスワードを教員が確認することはできません。

ID	IDの作成	IDの管理	IDの削除
2022-0001	2022-0001	2022-0001	2022-0001
2022-0002	2022-0002	2022-0002	2022-0002
2022-0003	2022-0003	2022-0003	2022-0003
2022-0004	2022-0004	2022-0004	2022-0004
2022-0005	2022-0005	2022-0005	2022-0005
2022-0006	2022-0006	2022-0006	2022-0006
2022-0007	2022-0007	2022-0007	2022-0007
2022-0008	2022-0008	2022-0008	2022-0008
2022-0009	2022-0009	2022-0009	2022-0009
2022-0010	2022-0010	2022-0010	2022-0010
2022-0011	2022-0011	2022-0011	2022-0011
2022-0012	2022-0012	2022-0012	2022-0012
2022-0013	2022-0013	2022-0013	2022-0013
2022-0014	2022-0014	2022-0014	2022-0014
2022-0015	2022-0015	2022-0015	2022-0015
2022-0016	2022-0016	2022-0016	2022-0016
2022-0017	2022-0017	2022-0017	2022-0017
2022-0018	2022-0018	2022-0018	2022-0018
2022-0019	2022-0019	2022-0019	2022-0019
2022-0020	2022-0020	2022-0020	2022-0020

ログイン画面入口



SASSI ID・もしくは紐づけたGoogle/Microsoftアカウントをご利用の場合



「トップページ右上の『Pスタディ Pプラスを始める』をクリックした後、商品選択の画面でPプラスを選択し、出てきた画面の右下にあるログイン入口(次のいずれか:①ベネッセ(SASSIで始まる)ID、②GoogleのID、③MicrosoftのID)を選択し、各自のID・パスワードを入力しログインしてください」

ログイン画面入口



生徒がパスワードを忘れた場合

「Benesse High School Online」にログイン後、「生徒情報の登録(ID発番)・確認・修正、ログインIDの連絡」に進んでください。
 「[確認・修正・連絡]生徒情報検索」の欄にて該当の学年を選択いただくと、生徒一覧が表示されます。
 パスワードをリセットしたい生徒の一番右列「パスワードを初期化」にチェックを入れ、「初期化する」をクリックしてください。



3 テスト開始



「皆さんログインできましたか？」

クラスを見渡し、ログインができていない生徒がないことを確認する。



「それでは、先生の指示に従ってテスト開始のボタンを押してください。解答時間は45分です。テスト画面上にタイマーが表示されますので、そちらを確認しながら解答を進めてください。開始から45分が経つと自動的に解答終了となり画面が切り替わります。はやめに解き終えた人は、余った時間で解答の見直しをしてください。見直しも終えた人は、45分よりも前に終了するボタンを押しても構いません。解答を終了すると、テスト結果を確認できます。時間がある人はこの場で静かに振り返りをしてください」



「それではテスト開始のボタンを押してください」

生徒が一斉に解答を始める

- ※終了にあたっては、テスト開始時刻より45分が経ったころ合いで先生の方から適宜声掛けをしてください。
- ※テスト終了後、生徒が計算用紙を使用した場合は回収してください。

結果の確認

実施を終えたら、テスト結果を確認できます。すぐに振り返りの時間が取れない場合でも、生徒はテスト画面に再度ログインすることで結果をいつでも確認できます。先生は先生用管理画面から生徒の実施結果をご確認ください。

生徒用の
結果帳票
全2ページ

個人結果 **ベーシック**

① 全体成績

16 / 100

② 分野別成績

分野	項目	得点	目標	進捗
情報社会と情報科学	問題発見・解決の方法	0	優先項目	
	情報セキュリティ	50	優先項目	
コミュニケーションと情報デザイン	メディアの特性	25	優先項目	
	コンピュータの仕組み	0	優先項目	
コンピュータとプログラミング	アルゴリズム・コーディング	0	優先項目	
	モデルとシミュレーション	0	優先項目	
情報連携ネットワークとデータの活用	ネットワーク	0	優先項目	
	データベース	0	優先項目	
	データの活用	Good 50		

全体成績・領域ごとの成績が表示されます。自身の強み・弱みを把握し、優先的に振り返るべき項目を確認できます。

個人結果 **ベーシック**

③ 設問別結果一覧

今回の結果を詳細に振り返りましょう。

問題ごとの正誤が表示されます。全問の解答解説を確認できるので、生徒がひとりで振り返りを進めていけます。

問題ごとの正誤が表示されます。全問の解答解説を確認できるので、生徒がひとりで振り返りを進めていけます。

1 「Pスタディ・Pプラス先生用管理画面」にログイン⇒確認したい実施回の[準備・結果]をクリック

目黒高校 工業科 高橋宏明先生

デジタル・情報活用能力 学習プログラム

2022

●●高校○○科	高1	ログイン	3 / 120	申し込み	ログイン
●●高校○○科	高1	ログイン	— / 120	申し込み	—

デジタル・情報活用能力 テスト

2022

●●高校○○科	高1	コア	実施済	登録完了	準備・結果	3
●●高校○○科	高1	ベーシック	実施済	登録完了	準備・結果	10
●●高校○○科	高1	シユコア	実施済	未登録	準備・結果	—

受験後

受験の状況を確認する

受験者一人一人の受験の状況を確認することができます。

集計完了

集計した成績をダウンロードする

受験結果集計後、成績表をダウンロードすることができます。

2 ダウンロードするデータを選ぶ

集計結果は、ここで表示された時期のものが対象です。

受験結果

最終受験日：2023/01/26 21:18:38

最終集計日：2023/01/26 21:20:13

組を指定してダウンロードする場合は、組を選択してください

対象： 全組

個人向け帳票をダウンロード

団体向け帳票をダウンロード

3 個人向け(生徒用)/ 団体向け(先生用)

※個人向け帳票は PDF データとして、団体向け帳票はエクセルデータがダウンロードされます。

結果の確認 教師用帳票の見方

帳票には今後のご指導の参考にできる情報がたくさん含まれております。
 以下は確認できる集計結果の一例です。

1 サマリー・指導案

サマリー・指導案のページでは、ご実施いただいた Pプラスの全体の集計結果を表示しています。
 これまでのお取り組みの成果確認や今後の指導内容の検討にお役立ていただけます。

分野	情報社会の問題解決	コミュニケーションと情報デザイン	コンピュータとプログラミング	情報通信ネットワークとデータの活用
分野概要	情報社会の中で、情報が社会に及ぼす影響を理解し、情報を安全に活用する力	情報社会の中でデジタル機器を効果的に活用し、コミュニケーションや問題解決のために情報を整理したり、表現したりする力	コンピュータの仕組みを理解し、的確に命令を構築する力	情報社会の中でデータを目的に合わせて収集、分析、活用する力
今回の受験 総評	ベーシックタイプのこの領域では、「情報社会において基盤となる法やセキュリティ知識を理解できていること」「問題解決のための方法（課題の設定、仮説・検証、情報収集・分析、評価・改善など）を習得していること」を目標としています。 今回は、「情報モラル・セキュリティ」の分野が比較よくできています。 一方で、「問題発見・解決の方法」の分野は正解率が低く、弱みといえそうです。	ベーシックタイプのこの領域では、「情報のデジタル化の方法やメディアの特性を理解できていること」「受け取った情報の信頼性について吟味・判断ができること」「コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報を適切な効果的な方法で表現・伝達できること」を目標としています。 今回は、「情報デザイン」の分野が比較よくできています。	ベーシックタイプのこの領域では、「問題解決のためのアルゴリズムを考案したり、基本的なプログラムをつくり不具合を修正したりできること」「モデル化とシミュレーション、およびコンピュータの仕組みや特徴について理解できていること」を目標としています。 今回は、「コンピュータの仕組み」の分野がよくできており、強みといえます。 一方で、「モデル化とシミュレーション」の分野は正解率が低く、弱みといえそうです。	ベーシックタイプのこの領域では、「情報通信ネットワークや情報セキュリティの仕組みを理解したうえでネットワークを構築できたり、データベースを利用した情報システムについて理解できていること」「目的に応じて多量かつ多様なデータを収集・分析し、分析結果を問題解決のために解釈・考察・活用できること」を目標としています。 今回は、「データベース」の分野が比較よくできています。 一方で、「データの活用」の分野は正解率が低く、弱みといえそうです。

全体正解率の分布（クラス間比較） ※11組以上

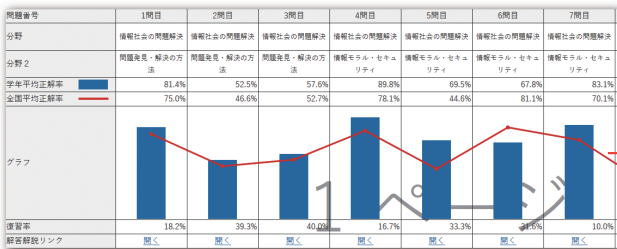
正解率	学年全体		1組		2組	
	単純人数	単純割合	単純人数	単純割合	単純人数	単純割合
100	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
90-99	6	10.2%	1	3.8%	0	0.0%
80-89	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
70-79	9	15.3%	6	23.1%	0	0.0%
60-69	10	16.9%	5	19.2%	3	30.0%
50-59	12	20.3%	4	15.4%	3	30.0%
40-49	3	5.1%	1	3.8%	1	10.0%
30-39	7	11.9%	5	19.2%	2	20.0%
20-29	2	3.4%	2	7.7%	0	0.0%
10-19	5	8.5%	1	3.8%	1	10.0%
1-9	4	6.8%	1	3.8%	0	0.0%
0	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%

総評

各領域について、強みと今後指導に力を入れていきたいそれぞれのサブカテゴリについての記載があります。今後のご指導の指針の1つとしてお使いください。

学年全体の度数分布

どの正解率にどのくらいのボリュームゾーンが来ているか一目でわかるようにしています。「情報I」の理解度として、また、大学共通テスト「情報」に向けた基礎力の定着の目安として、8割以上の正解率(80)にボリュームが来るのが望ましい形です。

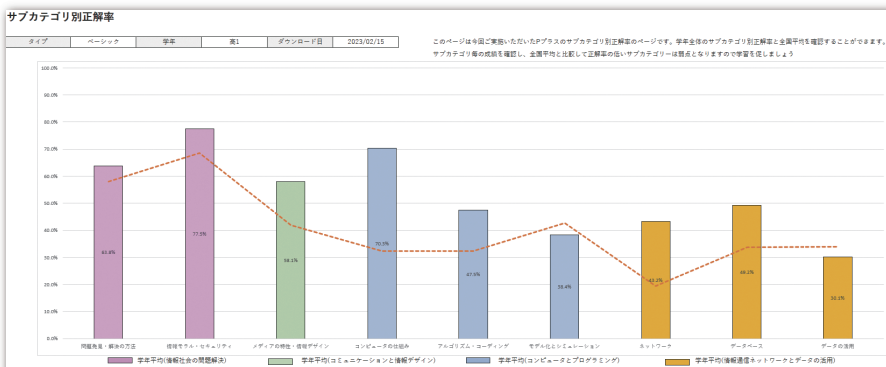


設問別正解率

設問ごとの平均正解率や解答解説がわかります。設問ごとに全国平均と学年平均を比較することができるので、重点的に振り返りをしたい問題の把握にお役立ていただけます。

2 サブカテゴリ別正解率

各領域を更に細分化したサブカテゴリごとの学年平均と全国平均の集計結果を表示しています。



※全国平均の数値は、集計をした時点での数値です。

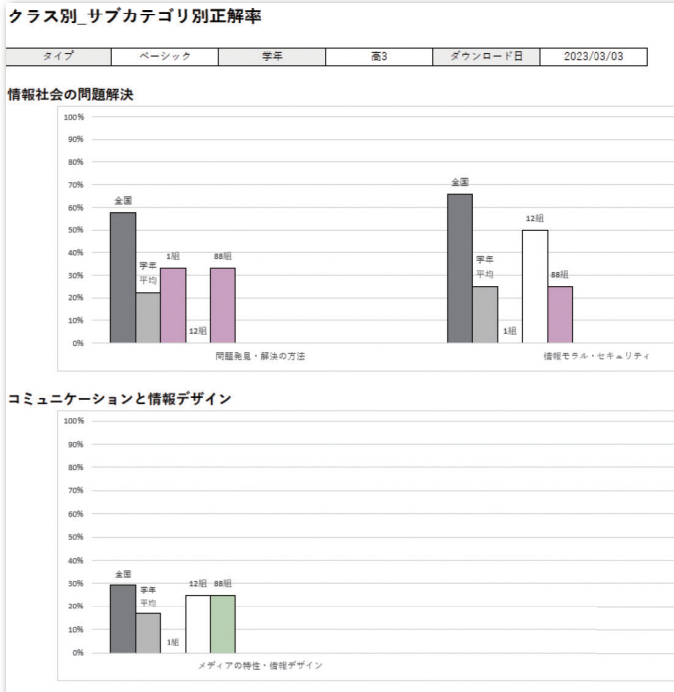
サブカテゴリの平均

各領域のサブカテゴリの成績を表示しています。例えば、「コンピュータとプログラミング」の中で特にどこが強みとなっているのか、もしくは課題となっているのか詳細に確認することで、より具体的な対策、ご指導案作りの参考にできます。

全国平均との比較

全国平均をオレンジ色の折れ線グラフで表示しています。全国平均は、団体集計を行った時点での、同じ属性の受験者データを集計した結果です。全国平均と比較することで、自校の強み、課題となるサブカテゴリを確認し、ご指導の振り返り・改善の参考材料にできます。

3 クラス別領域別スコアサマリー / クラス別サブカテゴリ別正解率



クラス別に結果の詳細を確認することで成績の要因を見つけます。

具体的には、成績が良いクラスがあった場合、そのクラスではどのようなご指導が効いたか、別の先生がされている場合はどんなご指導をされていたかを確認します。

そして、成果の出た指導方法を学校全体で共有・展開することで、学校全体で体系的な指導を構築し、高めていくことにつながります。

4 サブカテゴリ別正解率

個人別の成績を詳細に見ることで、生徒一人ひとりの強みや課題を発見し、良い結果をほめたり今後どこに注力して勉強すればよいかなどのアドバイスを伝えたりなど、個別指導にご活用いただけます。

受験者情報						正解率										集計除外対象		
ID	学年	組	番号	氏名	受験期間 受験日	全体	情報社会の問題解決		コミュニケーションと情報デザイン		コンピュータとプログラミング			情報通信ネットワークとデータの活用				
							問題発見・解決の方法	情報モラル・セキュリティ	メディアの特性・情報デザイン		コンピュータの仕組み	アルゴリズム・コーディング	モデル化とシミュレーション	ネットワーク	データベース		データの活用	
全国平均値					2023/02/15時点	40.2%	58.1%	68.5%		41.8%			32.4%	32.4%	42.7%	19.4%	33.7%	34.0%
学年平均値					2022/04/05 2022/02/21	52.1%	63.8%	77.5%		58.1%			70.3%	47.5%	38.4%	43.2%	49.2%	30.1%
BEN7VCWJY	1	1	2		2023/01/10	78%	67%	100%		100%			100%	67%	100%	75%	100%	25%
BA8Z76R3D	1	1	9		2022/09/12	75%	100%	100%		50%			100%	83%	33%	75%	100%	50%
BBST4V79L	1	1	11		2022/09/13	78%	100%	75%		50%			100%	83%	100%	100%	50%	50%
BHN5QRJX	1	1	14		2022/09/13	63%	33%	100%		50%			50%	67%	25%	100%	75%	75%
B3CUS24JY	1	1	22		2023/02/07	56%	67%	75%		75%			100%	17%	0%	75%	50%	75%

黄色表示

各領域で目標スコア(正解率80%)を超えた結果は黄色で示しています。黄色が多くついている生徒は、特に情報活用力系の分野が得意、あるいは黄色がついている領域等に高い関心を持っている可能性があるため、引き続きその意欲を維持、更に深めていけるような声掛けや素材の提供が効果的です。

除外対象

団体管理者の受験者ID確認画面で利用できる集計除外機能で、集計結果から除外選択をした場合、■が表示されています。このマークがついた生徒の成績は、結果帳票のサマリーやサブカテゴリ別正解率の集計には含まれていません。

結果の確認 実施後のご指導について

間違えた問題中心に見直しを指示することで学習内容の定着を図り、大学共通テストに向けた土台の力を固めることができます。Pスタディも並行してご利用中の場合は、テスト結果に応じた復習レポートが作成されます。このレポートを参考に生徒が個々で振り返りを進めることもできます。